

基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.97 更新記録

2012/03/09
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. DLD-DEM-XML作成

メニュー「DLD-DEM-XML 作成」にオプション「入力ファイルに 5 列目(1,0,-8888,-9999)有り」を追加しました。

The screenshot shows the 'DLD-DEM-XML 作成' dialog box with the following settings:

- 標高値の計算方法: バイリニア補間法(BilinearInterpolation,共一次内挿法) TIN上の標高値
- DEMファイル(txt)フォルダ(入力): [選択...]
- TINファイルフォルダ(出力・入力): [選択...]
- 基盤地図情報ダウンロードデータJPGIS-XMLフォルダ(出力): [選択...]
- 平面直角座標系: 系番号 4.香川県 愛媛県 徳島県 高知県
- DEMファイル(txt)のフォーマット: X,Y,Z N,X,Y,Z グリッドセルサイズ(m) 5.0 TIN作成済み
- ファイル名の一部: DEM5A 「DEM5A」 「DEM5B」 「dem5k」 等
- 納品日(8桁): 20120314 ファイル名,IfSpanFr,devDateに記録 8桁の数字(例20090315)
- GI要素の属性:
 - xsi:schemaLocation: http://fgd.gsi.go.jp/spec/2008/FGD_DLD_Schema FGD_DLD_Schema.xsd
 - xmlns:jps: http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-03
 - xmlns: http://fgd.gsi.go.jp/spec/2008/FGD_DLD_Schema
 - version: 1.0
 - timeStamp: 2009-03-15T00:00:00
- exchangeMetaData,dataSet:
 - 基盤地図情報メタデータID: 0-6 exchangeMetadatalに記録(例8-500)
 - 作成日: 2012-03-14 exchangeMetadatalに記録(例2008-03-31)
 - Citation: 2012-03-14 exchangeMetadatalのmetadataCitationのdateに記録(例2012-03-14)
 - 地物ID(連番以外): 10-00100-11-200001 fid,uuidに記録(例10-61002-8-4)
 - 地物ID(開始番号): 1 fid,uuidに記録(例1297433) IDは3次メッシュコード
- 座標参照系の測地原子: jqd2000 jqd2011 入力ファイルに5列目(1,0,-8888,-9999)有り

Buttons: OK, キャンセル, 設定を保存, 設定を開く

入力ファイルに 5 列目(1,0,-8888,-9999)有り

元の DEM ファイル(txt)に 5 列目があり、「-9999」「-8888」の場合、出力する XML の点の属性は「データなし」になります。XML の点の周りの 4 点のどれかが「-9999」「-8888」の場合「データなし」と判定します。バイリニア補間の場合にこのオプションは有効です。